

平成 27 年度第 1 回 横浜市山内図書館指定管理者選定評価委員会会議録	
日時	平成 27 年 7 月 22 日（水）午後 2 時から午後 3 時 40 分まで
開催場所	横浜市中心図書館 5 階 第一会議室
出席者	延命委員長、荻原委員、藤崎委員、前田委員、渡辺委員
欠席者	なし
開催形態	公開（傍聴者 3 人）
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成 27 年度選定評価委員会の審議の進め方について</li> <li>2 横浜市山内図書館平成 26 年度事業報告書について</li> <li>3 指定管理者による管理業務に係る評価項目について</li> <li>4 事業者ヒアリング項目について</li> </ol>
決定事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 山内図書館指定管理者管理業務について、平成 27 年度の委員会では平成 26 年度単年度の管理業務評価とともに、指定管理期間 5 年間の振り返りを行う。</li> <li>2 平成 26 年度の単年度の管理業務の評価については、平成 25 年度評価の中で指摘のあった項目については修正を行い、その他の項目についてはこれまでの評価に継続するものとして、昨年度と同じ評価項目・評価指標により評価を行う。</li> </ol>
議 事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成 27 年度選定評価委員会の審議の進め方について 事務局から説明。 (委員) 了承</li>   <li>2 横浜市山内図書館平成 26 年度事業報告書について 事務局から説明。 (B 委員) 活動実績の一覧の学校連携事業の指標の具体的な内容は何か (事務局) 図書館来館は小学生の図書館見学や中学生の職業体験、山内図書館で開催した読み聞かせ講座などの回数。学校訪問は、司書が学校図書館に出かけた回数。 (D 委員) 入館者数や貸出利用者数が減っているのは何か要因があるのか。図書館に来る人の目的が変わってきているのか理由はあるのか。答えはないかも知れないが、疑問に感じている。 (B 委員) 個人的には入館者数はただ増え続ければ良いわけではないという感覚もある。利用者満足度調査の時期に自主企画事業をたくさん実施すると、アンケート結果は変わってくるだろう。</li>   <li>3 指定管理者による管理業務に係る評価項目について 事務局から説明 (A 委員) 平成 25 年度評価の中で、評価項目を見直しが必要だと指摘した項目について中心に審議し、その他の項目についてはこれまでの評価に継続するものとして、昨年度と同じ評価項目・評価指標による評価を行う。 (E 委員) 修正案は具体的な数値目標をとったことが大きいですが、抽象的な評価基準になってしまい、第三者が見るとどのような基準で評価をしたのかわからない。 (C 委員) 数値に出ない質的な面を含めて評価するというイメージだと思うが、評価項目を修正した場合に評価の継続性が担保されず、評価結果だけを見ると評価項目が修正されたことまでは読み取れない。 (D 委員) 事業者としては前年度実績と比較を続けるとどんどん苦しくなっていく。例えば指定管理前の期間と比較をしないと、同じ契約期間の中で実績を上げ続けなくては行けない。 (C 委員) 全体的な利用が減少傾向にある状況で、事業者が努力をしている点を数値だけでは評価ができない。前年度からの増減を比較するだけではやや近視眼的だと</li> </ol>

	<p>感じる。</p> <p>(A 委員) 評価項目に注記を付け足すことで、評価項目の修正について説明するというご意見だと思う。修正案の基準は少し抽象的なので、例えば、指定管理期間前の数値と比較することで一つのものさしが表れてくると思う。</p> <p>(B 委員) 具体的な評価の文言としては、たとえば A は「前年度から 5%増加している、もしくは、」みたいな感じか。</p> <p>(A 委員) 従前の評価の目安を置いておきながら、今回の修正案に従い総合判断するというのはどうか。</p> <p>(B 委員) これまでも実際はヒアリングの内容を加味しながら評価してきたので、それをもう少し明確に示す文言として今年度は評価してみてもどうか。</p> <p>(A 委員) 大項目 3 (12) の情報発信ツールに関する評価の修正案についてはどうか。</p> <p>(C 委員) 時代に即した情報発信ツールというのを判断するのが難しいので、ツールを限定せずに、例示列举にしてはどうか。</p> <p>(D 委員) メルマガの利用者数が減少していても、他のツールでカバーしているということも考えられる。</p> <p>(E 委員) 常に新たな情報発信ツールが表れるかどうかはわからないので、「新たな」を削除した方が良い。</p> <p>(A 委員) 大項目 5 (3) 蔵書に関する利用者満足度については削除とする。</p> <p>(E 委員) 大項目 3 (2) のレファレンスの C 評価の基準が、他の項目と明らかに異なっている。他の項目とそろえると「レファレンスサービスを提供していない」になると思う。</p> <p>(C 委員) 全体として、B が水準という基準に対して、プラスのところがあれば A、足りないところがあれば C という基準になっている。</p> <p>(B 委員) レファレンスについては、評価の視点が「レファレンスサービスの充実」となっており、要求水準が最初から高い項目になっている。</p> <p>(C 委員) 「十分なレファレンスサービスを提供していない」という文言でどうか。</p> <p>(A 委員) レファレンスについては C 評価の文言を少しかえるということで、その他の修正案と併せて、後日事務局から送付して下さい。</p> <p>4 事業者ヒアリング項目について 事務局説明</p> <p>(B 委員) 原則として、今回、評価項目で変更した点についてはヒアリングで伺いたい。</p> <p>(D 委員) 指定管理期間 5 年間の最終年度として、どのような引き継ぎの準備をしたかなどを聞きたい。</p> <p>(B 委員) 5 年間の振り返りをするために、事業者にも振り返ってもらい、5 年間やってみてどうだったか、自己評価を聞きたい。</p>
資料・特記事項	<p>1 資料</p> <p>(1)平成 26 年度第 7 回横浜市山内図書館指定管理者選定評価委員会会議録(案)</p> <p>(2)平成 27 年度横浜市山内図書館指定管理者選定評価委員会の開催について</p> <p>(3)横浜市山内図書館平成 26 年度事業報告書</p> <p>(4-1)平成 26 年度横浜市山内図書館活動実績</p> <p>(4-2)平成 26 年度横浜市地域図書館活動実績</p> <p>(5)平成 26 年度横浜市山内図書館 図書館利用者満足度調査報告書</p> <p>(6)平成 26 年度山内図書館の目標と振り返り</p>

	<p>(7)平成 26 年度評価シート(案)</p> <p>(8)平成 26 年度事業者ヒアリング項目(案)</p> <p>(9)平成 22 年度～平成 25 年度 評価報告書コメント一覧</p> <p>(10)平成 22 年度～平成 26 年度 横浜市山内図書館特徴的な取組</p> <p>2 特記事項</p> <p>(1)平成 26 年度第 7 回会議の議事録は承認。</p>
--	--